

ミノシライトソウ	<i>Chionographis hisauchiana</i> (Okuyama) N.Tanaka subsp. <i>minoensis</i> (H.Hara) N.Tanaka	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 I B類)		ユリ科
選定理由	個体数が急速に減少しており、ごく近い将来絶滅が危惧される。	写真(高橋弘) 
形態の特徴	根出葉は狭長楕円形、葉柄と葉身の境界は不明瞭、葉柄を含めた長さ(3-)5-10cm、幅1-1.5(-20)cm、濃緑色、シライトソウより厚い。花茎は高さ20-30cm。花被片は上方4個の長さ4-6(-8)mm、下方2個の長さ約2mm、白色。花糸は長さ約1.5mm、白色。葯は2室。雌蕊は長さ1.5mm。	
生態的特徴	林床などに生育する。花期は6月。	
分布状況	岐阜県に固有で、美濃地方の中・西部に見られる。	
減少要因	開発や道路拡幅などによる生育地の破壊と、栽培や売買のために採取されることによる。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項	急速に減少しており、保全対策を徹底する必要がある。	
参考文献		

※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。

文責:高橋弘